

# 阿蘇海環境づくり協働会議 平成 29 年度の取組

## 1 清掃活動等の実施（行政・地域団体等が協働実施）

### ●夏の阿蘇海清掃（海藻類・漂着ゴミの回収）

地域住民が中心となって海岸漂着ゴミを除去

#### <宮津市府中地区：漂着ゴミ回収>

【実施日】7月5日（水）

【場 所】天橋海岸～大垣海岸

【参加者】約50名

【回収量】約2.9t

#### <与謝野町男山区：アオサ回収>

【実施日】7月9日（日）

【場 所】岩滝海岸

【参加者】約90名（うち、IVUSA 8名）

【回収量】4tトラック×2台、2tトラック×3台

#### <宮津市府中地区：漂着ゴミ回収>

【実施日】8月31日（木）

【場 所】天橋海岸～大垣海岸

【参加者】約50名

【回収量】約2.2t

### ●秋の清掃活動

#### <阿蘇海清掃：宮津市府中区>

【実施日】10月26日（木）

【場 所】天橋海岸

【参加者】約50人

【回収量】約5.8t

### ●地元主体の清掃活動（与謝野町東町区）

【実施日】5月28日（日）

【場 所】区内護岸及び歩道部

【参加者】約85人（浜町区、東町区）

### ●NPO 国際ボランティア学生協会（IVUSA）と連携した阿蘇海清掃

大学生ボランティアを受け入れ、より大規模な清掃活動を実施。また、活動を通じて地元住民との交流を深め、新たな取組の場づくり・環づくりを推進

#### <4月カキ殻活用試験>

【実施日】4月16日（日）

【内 容】カキ殻を活用したレンガ作り試験（DIY STYLE）

カキ殻の資源活用（野村農園）

【参加者】IVUSA：7名、地元住民他：3名

※斜体…新規事業

#### <4月野田川清掃>

- 【実施日】4月29日（土）  
【内 容】川の清掃活動：70L ゴミ袋 12 袋分  
【参加者】IVUSA：8名、宮津女性の会他：9名

#### <7月「阿蘇海の日」出展>

- 【実施日】4月29日（土）  
【内 容】川の清掃活動：70L ゴミ袋 12 袋分  
【参加者】IVUSA：3名

#### <7月清掃・カキ殻活用試験>

- 【実施日】7月8日（土）～9日（日）  
【内 容】阿蘇シーサイドパーク周辺の清掃活動  
カキ殻を活用した漆喰作り試験（DIY STYLE）  
【参加者】IVUSA：7名、地元住民他：3名

#### <8月阿蘇海夏プロ> ※大学生 106 人参加

- 【実施日】8月25日（金）～28日（月）  
【内 容】○阿蘇海の現状を知るフィールドワーク  
・カキ殻散布先（天橋立ワイン）での見学  
・船上環境学習会  
○「カキ殻クリーン大作戦」の実施（2日間：延べ62名の参加）  
・海洋高校22名（教員含む）をはじめ、企業、環境団体等からも参加あり  
○イベント等での普及啓発  
・「海の京都 クルージングフェスタ」でのブース出展・  
ステージ上でのPR  
・「海と日本プロジェクト」バスツアーでの取組紹介  
（対象：京都市内の小学生）  
・活動報告会の実施  
○阿蘇海産牡蠣を活用した新商品開発ワーキング  
・地元事業者と大学生がコラボして新商品開発・試食を実施  
※最終日に IVUSA と丹後広域振興局との包括連携協定の締結式を実施。  
【回収量】約 23.4 t

#### <10月野田川清掃>

- 【実施日】10月7日（土）、8日（日）  
【内 容】川のゴミ拾い：約 400kg  
【参加者】IVUSA：8名  
後野区、天橋立を守る会、地元中学生他：延べ 33 名

#### <2月阿蘇海春プロ> ※大学生 105 人参加

- 【実施日】2月24日（金）～27日（月）  
【内 容】○「カキ殻クリーン大作戦」の実施（2日間：延べ172名の参加）  
・1日目終了時に参加者と大学生ボランティアとの交流を  
深めるための昼食・展示会を実施  
・海洋高校85名（教員含む）をはじめ、企業、環境団体等からも参加あり  
○イベント等での普及啓発  
・「海の京都の台所 宮津満腹祭」での「カキ殻クリーン大作戦」PR  
・活動報告会の実施  
○阿蘇海産牡蠣を活用した新商品開発ワーキング

※斜体…新規事業

- ・地元事業者と大学生がコラボした新商品開発のワーキングを実施
  - 「阿蘇海を話そう会」の実施
  - ・過去3年間の阿蘇海での活動をふり返り、これからの活動について考える
- 【回収量】約24.9t（カキ殻）

### <3月カキ殻×竹炭土壌改良資材づくり>

IVUSAと交流のある京丹後市野間地区において、竹炭（放置竹林対策）とカキ殻を混合した土壌改良資材づくりを実施

【実施日】3月12日（月）～13日（火）

【参加者】野間地区他：延べ30名、IVUSA：6名

【内容】カキ殻と竹炭を混合した土壌改良資材づくり

## 大学生延べ250名参加。カキ殻約48トン回収

## 2 啓発活動の推進

### ●「阿蘇海の日」事業（市町主催事業）

7月2日を「阿蘇海の日」として事業を実施

#### ①阿蘇海周遊体験学習会

○日時：7月2日（日）10:30～11:30

○場所：阿蘇海（文珠汽船乗り場発着）

○参加者：約50人

○内容：阿蘇海に親しみ、環境について学ぶ学習会

#### ②事例発表・講演会・展示

○日時：7月2日（日）13:30～16:00

○場所：みやづ歴史の館

○参加者：約150人

○内容：事例発表、講演会、展示コーナー

### ●環境ポスター掲示による啓発活動（市、町）

地域の小学生を対象に環境改善絵画コンクール実施。入賞作品をパネルやポスターにして、地域内で掲出するなど意識啓発も実施

○応募数 宮津市：5小学校 51点

与謝野町：8小学校 185点

## 3 環境学習の推進

### ●環境学習のサポート（NPO、府）

NPOや行政職員による小中学校の環境学習サポート。阿蘇海流域の環境、野田川のサケ、生き物調査等

○6月12日（月）橋立中学校1年生（NPO）

○6月20日（火）宮津市立栗田小学校4年生（海洋高校）

○6月26日（月）橋立中学校1年生（NPO）

○7月15日（土）エコキッズ与謝野（小学校1年～6年）（海洋高校）

※斜体…新規事業

- 7月19日（水）府中小学校4年生（振興局）
- 10月12日（木）吉津小学校5年生（振興局）
- 10月20日（金）与謝小学校4年生（海洋高校）
- 12月7日（木）伊根小学校5・6年生（海洋高校）
- 2月28日（水）山田小学校4年生（NPO）

●アマモ場造成研究（海洋高校）

- 5月10日（水）阿蘇海アマモ場、宮津湾アマモ場調査
- 6月5日（月）阿蘇海アマモ場調査、宮津湾アマモ生殖株採取
- 12月12日（火）阿蘇海試験区でのアマモ播種試験（約3万粒）

#### 4 農業者関係の取組

●自然循環農業（京の豆っこ肥料）の推進（町）

豆腐工場からでたおからを作った「京の豆っこ肥料」を推進し、化学肥料から有機質肥料にすることで、与謝野町ブランドを確立するとともに、阿蘇海等環境に優しい農業の促進を図る。

#### 5 水産事業者の取組

●「天橋立育成あさり」の育成・販売（漁業者）

平成24年度までに開発した育成技術により、身入りが大きく栄養分の豊富なアサリを育成。阿蘇海の水質浄化にも貢献

●「文珠産天然生かき」の出荷（漁業者）

阿蘇海の豊富な栄養に育まれた天然カキは、はち切れんばかりに身入りが良く高品質。新たな特産品開発だけでなく、観光振興、景観保全等一石三鳥の取組を目指す。

#### 6 地域の主体的な活動

●サケのふるさとプロジェクト（後野区、NPO）

野田川に遡上するサケの見守り活動を通じて、周囲の環境保全や、暮らしと自然との関わり方を考える。

●ちょこボラステーション（NPO、市、町）

いつでも誰でも気軽に「ちょこっとボランティア」できるようステーションを阿蘇海周辺6カ所に設置。市町指定ゴミ袋の配布、回収ゴミの一時預かりを開始。回収ゴミの処分場への運搬は市町が行う。

- 吉野茶屋（文珠）
- 一ノ宮汽船乗り場（府中）
- 阿蘇シーサイドパーク（岩滝）
- クアハウス岩滝
- 与謝野町役場野田川庁舎
- 与謝野町役場加悦庁舎

※斜体…新規事業

●天ぷら油の回収（NPO、市、町）

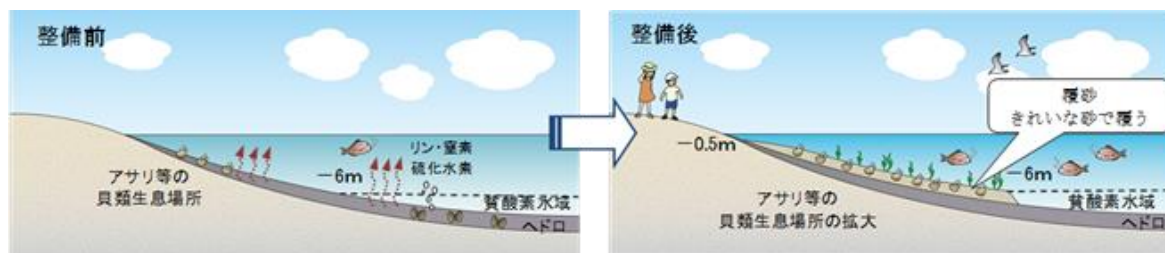
流入負荷削減の取組として実施。市町庁舎のほか、公民館、観光施設、保育所にも回収ボックスを設置

7 行政による取組

●阿蘇海シーブルー事業（港湾局港湾施設課）

平成 29 年度までに約 18.7ha の覆砂工を実施。平成 30 年度は効果検証を実施予定。

○事業期間：H15～30／全体計画：19 h a



●下水道事業、浄化槽設置補助（市、町）

●市町村森林整備計画の策定と適切な森林整備の実行監理（市、町）

※斜体…新規事業